10月25日 火曜日 24日発行
昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス

THE NAIGAI TIMES

第3258号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内銷証爵偽内台警字第0136号)

あすの暦 10月25日・火 旧9月10日 月齢9.3 日出 前5.55 日入 後4.55 月出 後1.11 月入 ― 満潮 後12.35 前5.15 干潮 後7.10 (長潮)

天気予報 今晩 北の風曇のち晴。明日 北の風晴れたり曇ったり。

仏、東西で敗北

ザールと南ヴェトナムの住民投票

仏政府重大危機へ

【パリ二十四日発=共同】二十三日ザールと南ヴェトナムで二つの住民投票が時を同じくして行われたが、ザールでは欧州化案が圧倒的多数で否決、南ヴェトナムの国家元首を決定する住民投票でもフランスの支持するバオダイ主席が、米国の後押しするゴー・デインディエム現首相に絶対多数で敗れることが確定的となった。ザール住民投票の結果はただでさえ影のうすくなっている欧州統合運動に致命的打撃を与えるとともに今後の独仏関係を一層悪化させることが予想され、バオダイ主席が拒否されることによって南ヴェトナムの仏からの離脱は決定的となった。かくて北アフリカ問題で一時的に危機を切抜けたばかりのフォール内閣はふたたび重大な危機に直面するに至った。

ザールブリュッケン市内の投票所で投票するホフマン・ザール首相(AP電送=共同)

バオダイ廃位

ゴー主席の登場へ

南ヴェトナム住民投票

【サイゴン二十三日発=共同】南ヴェトナムのバオダイ国家主席廃位を目的とする国民投票は、一部をのぞき、二十三日午後五時平穏に終った。選挙の結果は二日後には判明するが、すでに結果の発表を待たないでも圧倒的多数でバオダイ主席廃位が決定し、ゴー首相が国家主席になることは決定的とみられる。

この選挙の結果がわかればゴー首相はいよいよ主席に就任、そこから新たなヴェトナムのプログラムが始められよう。ゴー首相は憲法制定、共和国宣言を進め米国の援助をたよりに北ヴェトナムに対抗する反共ヴェトナムの建設に努力するだろう。

独仏、再交渉か

(ザールの地位決定)

【ボン二十三日発AP=共同】ザール住民投票の結果判明とともに、ボンではアデナウアー政府がザール問題についてフランスと再交渉せよとの圧力に抗しきれなくなるだろうという見方が強まっている。ザール欧州化案に終始反対していた野党第一党の社会[illegible]

仏、公式見解を発表

【パリ二十三日発ロイター=共同】仏政府は二十三日夜次のようなコミュニケを発表した。仏政府はザール住民の決定に留意する。仏政府の[illegible]ザール欧州化が拒否された場合にも一九四五年以来継続してきた状態、すなわち仏・ザール経済同盟は依然存続するという去る二十一日のピネー外相の言明の通りである。

欧州化、葬らる

ホフマン首相辞職

ザール住民投票

【ザールブリュッケン二十三日発UP=共同】ザール住民投票は二十三日行われ、開票の結果、ザール欧州化に反対する票は有権者総数六十[illegible]ついに拒否される運命となった。

【ザールブリュッケン二十三日発UP=共同】ザール住民投票の公式最終結果は二十三日発表された。▽有権者総数六十六万二千八百四十九▽投票数六十[illegible](九六・七二%)▽有効投票数[illegible]▽賛成二十万一千九百七十三(有効投票数の[illegible])▽反対四十二万三千四百三十四(同六七・七一%)

【ザールブリュッケン二十三日発ロイター=共同】ホフマン・ザール首相は二十三日辞職した。

会長三木、大野両氏か

岸・石井会談 準備会構成を協議

岸、石井民自両党幹事長は二十四日午後、永田町のグランド・ホテルで会見し、新党結成準備会の構成と運営について協議した。会談では二十六日に発足する新党準備委の会長を一人にするかどうか、代表委員の数を両党から十名ずつ出すか、あるいは全部で十名程度にするかどうかを話合った模様である。

岸幹事長は会長には三木武吉氏を推していたが、自由党側は三木、大野の複数会長制を希望しているので、この線に落着く公算が強い。また岸幹事長は当初代表委員を両党からそれぞれ十名程度出すことを考えていたようだが、自由党側が数をなるべく少なくした方がよいとの意向を表明したため、現在では両党合せて十名程度という構想に落着く模様である。

準備会の運営方法はまだ両党とも具体的な案を示していないが、問題は代表委員に主導権をとらせるか、また四者会談を継続してゆき、そこで重要問題を処理してゆくかにかかっている。岸幹事長はたとえ代表委員に両党の有力者がなるにしても、四者会談はこれと併行的に随時開き重要問題の解決はむしろ四者会談で行いたい意向である。さらに準備会の最大の課題は総裁公選問題の処理であるが、民自両党の意見が対立し準備会へ引つがれるので、運営は極めて微妙である。

(上)岸幹事長 (下)石井幹事長

石橋通産相 帰国の途へ

【シンガポール二十三日発ロイター=共同】コロンボ会議に出席した石橋通産相は二十三日当地発バンコック経由帰国の途についた。

英外相パリ着

【パリ二十三日発UP=共同】マクミラン英外相は三国外相会談出席のため二十三日午後六時二十分(日本時間二十四日午前二時二十分)空路パリに到着した。

廿六、七日ごろ 松本全権の野党党首訪問

[illegible]二十四日朝千駄ケ谷[illegible]党総務会長を[illegible]党党首訪問の時[illegible]た。この結果同[illegible]党幹事長会談で[illegible]たしかめた上、[illegible]ことになった。[illegible]首訪問は自由党、社会党の順で行われるが、二十五日は自由党の両院議員総会があるため二十六、七日ごろになるものとみられる。

欧州かけある記

近藤天 ⑩

リスボン

写真はカボ・ド・ロカの『大陸の終るところ、海の始まるところ』の記念碑を前に筆者

住宅難のない国

情緒深い夜の街

輝やく太陽に冬を知らぬ常夏の国ポルトガルの首府リスボンは、大西洋に注ぐタホ河の右岸にあり、人口八十万、天然の良港として世界的に有名である。タホ河に近い丘陵地帯はアルファマ地区といって、中世の昔ムーア人が築いたサン・ホルゲ城砦があり、ローマ・ムーア時代の古い面影をとどめている。

市街は石畳をしいた狭い小路が曲りくねって雑然と通じ、タイル張りの民家が密集している。住民は素朴で、むしろ田舎くさいといえる。女は余り化粧していないようで、そういう関係からか美人には中々お目にかからない。この小路には主婦然としたある種の女が出没するように聞いた。ありそうな話である。

リスボンの市街は一七五五年大地震でほとんど壊滅したが、唯一つ残ったものにジェロニモス修道院がある。マニュエリナ芸術の粋が集められ、壮大なこと驚くばかりである。墓地にはこの国歴代の大統領が葬られており、市民の参詣が絶えない。寺院の前方の河岸にベレム塔があり、昔の要塞であるが、地下は水牢になっており、往時の歴史の一コマにふれたような気がして感慨深い。

ここから約三十キロドライヴしてカボ・ド・ロカに行く。ヨーロッパ大陸の最西端である。詩人カモンエスが『大陸の終るところ、海の始まるところ』と歌った詩句が刻まれた記念碑が建っていて、その前に濃紺の大西洋の海が果しなく続き、風は強い。

リスボンの郊外には続々とアパートや個人住宅が建設され、ヨーロッパで唯一つ住宅難のない国となっているが、全くうらやましい限りである。建物は細い鉄筋が少し入って煉瓦積みの簡単なものなので、もし往年のような大地震に見舞われたらひとたまりもないのではないかと案じられた。

夜のリスボンは大変情緒的である。ホテルや食堂などで、ボーイや女給がサービスの合い間にごく自然に民謡を歌う。歌はギイダーラの繊細なメロディにのって街頭へ流れてゆき、客は物静かな態度で聴入る。時には客も低声で合唱に加わる。情熱的に踊り、歌って興奮の渦を巻起す隣国スペインの雰囲気に比べて、物足りないようだがしかし気持はよい。二つの国の対照的なのは面白い。(筆者は本社監査役)

粋人酔筆

籠釣瓶

日本と中国とでは習俗の上に似ているものもあるが、ちがっているのが多い。生活様式からいえば、日本の方にむしろ特異な点が多く、中国の方は欧米と共通であることが多い。

日本人の中国進出時代に、北京で日本人の家に雇われて来た中国人のアマ(女中)が、最初靴のままタタミの上にあがっていった。それはいいとして、フスマを開けようとして向うへ押したため、敷居からはずれて倒れてしまったので、青くなって恐縮した。これは日本で田舎のおばあさんが、洋式便所に入り尻をのっけるところへ上って、おっかなびっくりで用をたしたというのと同巧異曲の笑えぬ喜劇である。

戸障子の類をシキイ仕立てにして横に開くのは、日本独特の風俗で、中国では西洋と同じく、すべて観音開きであるから、フスマの開けかたなんぞ、初めての者に判るわけはない。また大工道具のカンナやノコギリにしても、中国は西洋と同じく向うへ押して使うようになっているし、手前へ引くのは世界中日本だけらしい。

籠釣瓶(カゴツルベ)といえば、芝居の"吉原百人斬"で、女にふられて殺人鬼になった佐野次郎左衛門が、めったやらに振りまわした凶器日本刀の銘であるが、どうしてこういう銘がつけられたかというと、籠で出来た釣瓶だから『水もたまらず』というシャレで、それほどにこの刀の切れ味が好かったという意味なのだそうだ。

ところが、このシャレは中国では通用しない。なぜかというと、中国の井戸の水を汲む釣瓶は籠でできているのが普通だからである。材料は柳行李と同じ柳の枝で、軽くて強くもちがよいところから用いられる。もちろん、籠そのままでは水汲みの役に立たないのだが、粘土を豚の血で練ったものを塗って籠の目をふさいでよく乾かすと、決して水がもらない。

湯タンポというものは、日本では男女ともに寝るときに、布団の中に入れて足を温めるのに用いるのだが、中国では女だけが、起きているときに手を温めるために用いる。といっても、これは中共以前の話で、今日はもはやすたれていると思う。それも極く短い期間のことであったが、日華事変の起る少し前頃から、中国の女のニュールックとして、満州服から変化した旗袍(チイパオ)つまりチャイニーズ・ワンピースが流行した。

これは今日、日本でも中国服と称して着るひとがあるからご承知のとおり、袖が洋式をとって短くしてあり、二の腕までむきだしになっている。腰から下の両側が割れていて、歩く時に脚線美をチラチラのぞかせるのがこの服の魅力でもあるが、一年中この型の服を着るので、冬は肌が寒い。外出にはオーバーでおおうからいいが、室内で客に接する商売の女は、その腕をむきだしにしたところが見栄なのだから、ハタと困った。もちろん北京一流の館といえども、せいぜい室の隅っこにストーブを置く程度で、暖房なんて気のきいたものはないし、流行ッ娘になれば、しょっちゅう室を出たりはいったりするから、胸まで温まるひまはない。

そこで発明されたのがゴム製の水枕式湯タンポである。ふつうの水枕より少し小型で、それに温い湯をいれて、両手で抱くようにして寒さをしのぎながら、客のお相手をつとめた。中国の妓は日本のようにお酌をしたりなんかしない。ただ話をするだけだから、この湯タンポを抱きながら十分に、つとめははたせるのである。当時、北京の花街前門外に遊んだ日本人諸君にはおぼえがあることと思う。

ついでながら金時式の腹掛けは日本では子供のものだが、中国では妓がつけていることも、経験者にはくすぐったく思い出されるだろう。

石原巌徹

東京株式仲値 □新株落 △配当落 (24日前場終値)

				倉レ	125	小西六	107
				旭化成	386	カボン	40
				山陽パ	136	三井物	139
特定銘柄		信越化	93	日本パ	113	第一物	135
東海上	261	東高圧	147	国策パ	137	白木屋	320
郵船	63	昭電工	117	東北パ	118	高島屋	104
新三菱	77	日本曹	102	大東紡	101	日活	73
日清紡	272	旭電化	95	商船	47	松竹	217
味の素	296	三菱造	96	三井船	51	東宝	1330
三越	295	三井造	127	飯野海	60	大映	168
三菱地	503	三菱重	66	西武	370	日本粉	130
平和不	219	石川重	94	藤田興	216	日清粉	128
		精工	145	東京ガ	82	日本ビ	184
三井金	119	東洋ベ	126	東電	608	朝日ビ	196
三菱金	116	日立造	56	日銀	1900	キリン	215
日鉱	108	浦賀	54	東銀	56	宝酒造	132
住友金	116	日平	18	三井銀	73	台糖	292
三菱鉱	56	古河電	73	富士銀	87	明糖	136
古河鉱	82	日立製	82	日証金	75	甜菜糖	132
同和鉱	139	東芝	69	安田火	106	野田	206
住友鉱	64	三菱電	86	大正海	91	森永	188
三井山	68	小松	66	住友海	84	明菓	186
北海炭	67	日本光	149	千代田	77	日水産	97
東邦亜	77	キヤノ	166	鋼管	88	昭和産	117
帝石	75	東京光	40	日製鋼	76	東洋醸	92
日石	112	東洋紡	167	八幡鉄	64	合同酒	146
昭和石	136	鐘紡	135	富士鉄	58	三楽	128
東燃	137	富士紡	123	神戸鋼	56	大阪糖	182
三菱石	146	大日紡	86	日特鋼	117	王子紙	249
大協石	145	日東紡	63	日軽金	186	十条紙	277
日東化	97	片倉	35	日金工	75	本州紙	98
日産化	85	東邦レ	117	日セメ	170	三菱紙	94
三菱化	117	帝繊	38	磐城セ	284	北越紙	70
三井化	134	中織	47	小野田	94	三井不	799
協和醗	133	帝人	154	横浜ゴ	157	三井倉	96
東合成	142	東洋レ	199	旭硝子	173	渋沢倉	84
三共	176	三菱レ	133	富士写	160	東洋埠	217

市況

玉整理商状

週明けの市場は日証金貸出し条件の緩和を伝えたが全く反応なく、四社もほとんど見送っているので引続き緩慢な玉整理商状を呈している。特定株は小口商いに終始して主力株はじめ概ね前値付近に据えつき、雑株は山一買いの台糖と東京発動機、白木屋など材料株の一部が六―十円方買われているが、いずれも部分的な小動きにとどまり全般は大証券の消極化から小口の売物に押されて一―二円内外小緩むものが多く、幾分弱含みの場面となっている。

▽安い株=中山鋼十円、太平炭、五円、北海道電力、ゼネラル物産、東横四円

▽高い株=東京発動機十円、台糖七円、白木屋六円、日炭五円

地獄耳

愛酒・敬酒は病に負けず

尾崎士郎氏は誠に愛酒家であり、敬酒家であり、ツキアイ心もよく、いつ会ってもプンプン"酒の匂い"を発散させている。本業創作家の上、横綱審議会委員で、名だたる"角力好き"でもあり、目下"雷電"執筆に打込み中で評判も悪くない。片手間に水野成夫、尾崎一雄氏らと共同で"風速"を発行、回り番で編集に当っておるので、やたらに忙がしく体も疲れる。どうも"両濱瘍気味"らしいと、本郷の知人のところに注射に出かけた帰りに、新橋駅前小川軒で椅子に腰掛けるや、間もなく、"眼まい"を感じてヒックリ返った。急を聞いて夫人やファン、文芸春秋社員まで馳せつけたが意識不明、医者の手当でヤット正気づいたものの経過が全くわからない。引続いて一子俵士クンの運転で、子ぼんのうの尾崎氏"これは一体何ちゅうことか"と大心配。どうやら昨今落つきを取戻したものの生来の愛酒・敬酒方針には、いささかの変りもないらしく"ヴィー・ヴィー"と相かわらず酒臭い。

ないがい川柳

吉田竹哥 選

東京の賞与れ金がひしとほし 港 瀬谷蒼美

赤い羽根スリも刑事もつけている 福島 佐々木正文

豊年のあとはローラで基地にされ 墨田 積谷三十越

無所属もそろそろ婿の口があり 新宿 斎藤耕月

はなし家の妻にはおしい顔かたち 城東 法界坊

鏡台にほこりが見える倦怠期 杉並 白石悦子

【賞】着くとこに着くまで秘書として仕え 世田谷 いろは

内外抄

二つの人民投票、西のザールと東の南ヴェトナム。どちらも民族と独立の勝利は致し方なし。

◇

『欧州化』には反しようと独逸人は独逸への、ザール住民の望郷の情を如何せん。

◇

新党準備会の会長を二人にしようと。総裁も二人、総理も二人にすればイザコザあるまい。

◇

米議員調査団の沖縄入りに公聴会の予行演習まで行う。陳情デモに手抜かりはない害。

◇

国際家族計画会議はきょうから。会議で理屈を並べるより実際に手をとって教えるのが何より。

ジグザグコーネ

黒星の泣きごと

トランプのオール・マイティはその名が示すように、総てに強いことであり、いわゆる切札である。トランプ遊びだから認められるが、人間のほせると往々にして自分がオール・マイティだと錯覚を抱き勝である。歴史上の人物をみると、遠くはナポレオンをはじめヒットラー、ムッソリーニみな然りで、ワールド・コンクェラー(世界の征服者)を夢みて、一時は華やかだがその末路たるやまことに哀れだ。

さて振りかえってわが国をみると『寄らば斬るぞ!』の日本刀の血が流れているせいか、オール・マイティ的素質を多分に持っている。だがその反面、昔から『強いものには巻かれろ』などと、権力に屈する情ないところもある。こうしたことが権勢にたずさわるものをして頭に上らせ、挙句の果は威張らせて人権蹂躙問題なんてものを起させる結果になる。

こんどの中国留学生殺し事件は犯人劉春梅が逮捕されめでたく解決したが、解決しないのは二十日間も拘置され、冷い飯をくわされて犯人扱いを受けた楊集龍さんとその妻スズさんである。間違いと気狂いはどこにもあるといわれればそれまでだが、斬られ与三のセリフ『それでは済むめえがなあー』といいたくなる。

それはともかく『百人の犯人がつかまらなくとも一人の無実の罪を出さぬ』という新刑訴法の精神にもとるわけだ。これは楊夫妻ばかりではなく、銀座雑貨商殺しの容疑者として挙げられた岩本平さんの場合も同じであり、二人とも冷い手錠をガチャリかけられた時はゾクゾクっと身震いしたと語っている。その上、悲劇は悲劇を運んで、楊さんは就職の路を断たれ、岩本さんのイトコは纏まりかけた婚約が破談となり、妻は勤めを体よくやめさせられたという。こうなると大きな社会問題だ。

戦後民主警察として警察官の素質は大分向上してきたが、世の中が逆コースになるに従い、またまた国家権力にモノをいわせる傾向が強く、こんどの問題もその現れといわれても仕方があるまい『黒星続きでまことに申訳がなく、当局の責任を痛感している』(小杉刑事部長談)なんて泣きごとめいたことをいわず『警察のダンナしっかり頼みまっせ!』(煙)

【写真は楊さん(右)と岩本さん】

青春無宿 (167)

大林清 作 下高原健二 画

黒い死(三)

次郎は兆子が冗談を云っているのかと思ったが、その真偽をたしかめないうち、ボーイがもどって来た。

兆子は無雑作に支払いを済ませると、先に立って場内を出て行った。今までの酔いの跡方もなく醒めはてたようなしっかりした足どりだった。

次郎もそのあとにつづいて、一階への階段をあがった。

緑色の制服を着たボーイが、どこからか飛び出して来て、二人のために車を呼ぼうとする様子を見せたが、兆子は手を振って断った。

『少しあるきましょうよ』

玄関前へ寄って来るタクシーに目もくれず、そのビルの角をすぐまがった。

横丁は自動車の往来も絶えて、むろん人通りはなかった。

『ヴァルマンが殺されたんですって』

兆子は次郎が近づくのを待ってもう一度云った。冗談でないのがそれで感じられた。

『どこで誰に……』

次郎は鋭くきいた。伊豆山の海際での死闘を想えば、殺傷沙汰ぐらいとりたてて驚くにあたらないが、彼等の世界の出来ごとではあることを、次郎はやはり平静には聞き流せなかった。

『横浜の海岸通りで死体になって発見されたんですって。誰かにピストルでやられたらしいわ』

どこか小気味よさそうな響きがあった。

『犯人はわからないんだね』

『どうせ仲間でしょう。ねらわれていたんだから。でも、たしかまだ日月教から引出したお金を、ドルに交換している最中だし、最後の大きな仕事というのは、やってなかったと思うわ。今会った奴はドルのブローカーで国籍のない男なの。あいつの話だと、ハロヌークだのソロジェムだのって部下にやられたんじゃないかって云うの。何しろドルのいっぱい詰ったボストン・バッグを持ちあるいていたんだから、命なんぞ幾つあったって足りないって』

兆子はそう云ってから、乾いた笑い声を立てた。

二人は靴音の異様に大きく響くビルの谷間をあるいていた。行く手の高架鉄道の上を、際限もなく長い貨物列車の列が通り過ぎて行った。もう午前一時にはなっているだろう。

『だけど、明日の新聞に出ると、ちょっと面倒なことになるわね。ヴェトナム反共の志士、実は国際密輸団の一味とわかって、第一にお金を融通した日月教が騒ぎ出すでしょう。そうすると、お兄さんにまでとばっちりがかかりゃしないかしら?』

次郎も実はそれを考えていた。大反野とヴァルマンの仕組んだカラクリが明るみへ出されて、大反野は教団内での現在の地位を失脚する。それはいいとしても、次郎が恐れるのは、自分がヴァルマンの趣意書へ署名したことから、累が父親の清隆に及びはしないかということだった。

兆子がふと足をとめた。

『お兄さん、大反野に会いましょう』

次郎は何か決然としたものをうかべている兆子の眼をみつめかえした。

『あいつ、きっと麻布にいるわ。これからすぐ行ってみましょう』

近ごろ熱海の横顔

『東京の奥座敷』といわれる熱海は、いまや奥座敷などというおしとやかな風情を保ってはいられなくなった。そこは、さながら東京の寝室であり、茶の間であり、そして静岡県にとっては財源を叩き出すための大切な店構えでもある。今年の春からこの秋にかけて熱海を浮かれさせた観光ブームは記録的なものだったという。世の中がそれだけ景気づいてきたのかどうかはしらない。しかし、そのブームの蔭には〝熱海なればこそ〟の隠された話題も少くないようだ。東京寝室の溜息、東京茶の間のおしゃべり、それやこれやの落ち穂話をあつめてオムニバス・ルポ〝近ごろ熱海の横顔〟を描いてみよう……。【カット写真は観光ブームで沸く熱海の街】

〝東京寝室〟落ち穂拾い

岬暮しの脱走GI

〝ステキデス、ホームシックナリマシタ〟

野荒し、ターザン顔負け

その一話　南熱海岸の端に魚見崎がすんなり女の腕のように延びて、自殺の名所錦ケ浦断崖に連っている。中腹のあたりにミカン畑があり、僅かな芋畑が残されているが、九月の半ばごろからひんぴんとまだ青いミカンが盗まれ、芋畑が掘り返されてゴッソリいかれることが多かった。悪戯にしてはアクどいと人の話題にのぼるころ、付近の百姓が『黒ン坊が金をくれた』とまた奇妙な話題をふりまいた。それが、一人二人ではない。それらの話をつき詰めていくとこうだ。大きな黒ン坊が芋畑を掘っているのを見掛けたので、咎めるといきなり幾らかの金を押しつけて脱兎のように姿を消す。

黒ン坊一人のときもあれば女がついているときもあった。『どうも脱走GIが女づれでターザン騒しをきめこんでいるらしい』と、ときならぬ恐怖？　熱海署でも捨てておけないので私服四、五人が探索を行った。結局洞穴の中でふるえていた二人を発見したのだが件んの黒ン坊、私服姿をどうしても警官とはみなさない。わめき騒ぐのをなだめたり、折返し制服警官をよこさせるやらの騒動があってやっと納得させ保護に及んだ。

黒ン坊は東北のあるキャンプから脱走したGI。女は、福島生れの〝渡り鳥〟…お定まりの国際逃避行だが、プロバリン錠を持っていたところを見ると最後は心中するつもりだったらしい。それが熱海にきてみると『ステキデス、ホームシックナリマシタ』というわけで、死ぬに死ねず金もなし、約一週間というもの野荒しで飢えをしのいでいたという。それにしても、女の方は遥か年上、日本人なら二の足を踏むような面相だったそうで『ここのところどうもわからない』と、熱海人種はいまさらのように湯煙にまかれた表情。

幸運の乳房

続 無流交番日記 ⑤

中村 獏

『お巡りさん大変です！　直ぐ来て下さい』

ある晩、血相変えた人夫風の男が交番へかけこんで来た。

『どうしたんですか？』

『お、女が、き、斬られて倒れて、い、いるんです！』

と、やっといった。

『場所は？』

『××町の暗がりです』

『よし、直ぐ行きます』

ただごとでないらしく、男は私の質問にも応じられないほど息をはずませていたが、

私は生来、血なまぐさいことは好まないのだが、任務とあらば致しかたがなく、男と同道して現場へ向ったのだが、道々様子をきいてみると、『キャァ！』という声がしたのでびっくりしていってみると、犯人らしい男が逃げて行き、若く美しい女性が胸を斬られて倒れていたのだという。

『とても美人です、ええ、そりゃあもう』

びっくりしても顔を見るのは忘れなかったとみえて、男は力を入れてそんなことをいった。もっとも、自殺だの死んだのというと大抵の女性は美人にされるのでアテにならないが、現場について見ると、なるほど美人だった。

『ねえお巡りさん、美人でしょう』

男は自分のことのように自慢している。私は女性が倒れている周囲を丹念に慎重に観察した。どこかに犯人検挙の手掛りでもないかと思ってである。

そしてやおらそばへ寄って見た。左の胸に鋭利な刃物が刺さっている。

『一突きで死んだんですね』

『そうらしい』

『あんなに血が出ています』

『血？　どこに？』

『あんなに出てるじゃありませんか』

『よく見なさい、あれは下着の赤いジャケツが見えてるんだ－』

『へえ？』

男が血だと思ったのは毛糸のジャケツだった。

『おお、大丈夫だ、死んではいない…』

美人の口に耳を寄せてみると、スヤスヤと快よい寝息がしていた。斬をかきながら死んでるなんて変だから、私には彼女が生きていることが判った。気絶しているだけらしい。

『しっかりしなさい！』

私が怒鳴ると彼女は、ポッカリと大きな目を開けて呆然としていたが、しばらくして自分の置かれている情況にきづいたらしい。乱れた前など正しながら慌てて起き上った。それにしても元気な怪我人があるものだと思う。胸に刺さっている刃物をそのままに起き上るのだから。

『胸の怪我は？』

『あら、そうでしたわ！』

私が尋ねて初めて胸の刃物に気がつく有様だった。

さて、私が驚いたのはこれから先なのだが、彼女が胸の刃物に手をやった瞬間、彼女のオッパイはコロリと体外にころがり出たのであった。

『おお！』

彼女の豊かな胸にはスポンジのパットが入れてあったのだ。彼女はそのためにかすり傷一つ負っていなかった――彼女の丸い胸を狙った痴漢はその後捕ったが、オッパイがイミテーションだったと知ったら一体何というだろうかと、ちょっとおかしくなった。　（え・永田　力）

〝エデンの泉〟ともいうべき熱海温泉

二度目の自殺もフイ

泣かせる片割れ男の殉愛

その二話　歓楽つきて哀愁あり……熱海と心中、自殺はつきものだ。自殺といえば錦ケ浦である。その自殺もグンと近ごろは減った。大体春に多く、秋に少い傾向だそうで、秋になると水が冷めたくなるからだろうとうがった見方をする者もいるが、楽しかるべき春に死を急ぎ、さびしかるべき秋に少いというのは、割り切れない矛盾でもあろう。

さる日、海岸寄りのある旅館で服毒心中があった。女は絶命し男は気息エンエン。こんなときの旅館は災難である。店も早や早やと閉め切った。すると真夜中の二時ごろ『ズデーン』と調理場の屋根上に起るすさまじい物音。『それッ、二度目の災難』とあわてて飛んで行ってみると屋根の上に男が一人血まみれになってのびている。これが心中の片割れ男で、最愛の彼女だけを死なせては済まない一心もだしがたく、二階から身体をはいずり出して二度目の自殺を図ったものと判った。幸い目測を誤ってこのダブル・プレー自殺は思いを達しなかったものの、男の殉愛精神には旅館の人々も胸打たれたという。

目殺名所の錦ケ浦を望む

おさすり商法

一ぱい食わされた酔客

その三話　は、観光ブームの余恵にあずかってさぞかしホクホク顔…と思いきや、これが案外の思惑はずれで、これも一つの矛盾であろう。その一例…。ある酔客が何となく糸川は柳の下を歩いていた。と、嬌声とともにムンズと腕をとられてズルズル。『ノー・マネーだよ』とたじろいだが『三百円でいいのよ、ねえ、ちょっと』という次第で上り込んだ。さてそれからのちは顔と顔がふれ合って百円、胸に触ったって二百円、手が下にいったといっては三百円、とどのつまりはアレヤコレヤと千円ばかりふんだくられ、それでちょうど時間と相成りまして『また来てね－』何のことはない〝おさすり商法〟である。いかにお光様のお膝元でも－と、自分の鼻の下の長さをタナにあげてその男、ショボリしていたそうな。

情痴の巷糸川界隈

望遠サービスで情緒満喫

その四話　〝盗み見〟は人間の悪いクセであるる。悪いけれどなかなか面白い。熱海の家々は冬でもよく窓が開け放されている。そこでこの〝裏窓趣味〟がよく発揮される。望遠鏡一つあれば、推理小説的、情緒文学的風景が満喫できる。そんな望遠鏡がサービスとして備えつけてある旅館もあるそうだ。ご用心のこと。

モダン歳々記

ワルツ王生る

一八二五年十月二十五日、ワルツ王のヨハン・シュトラウスがウィーンに生れた。父親もヨハン・シュトラウスといい、これまた独身で、ワルツの名作曲家であったが、子供のヨハンは、初め父親の意思で工業学校に入れられた。しかし彼は卒業後に銀行に勤めたが、帳簿よりも五線紙の方が好きだったらしく、十九の時に音楽家になってしまった。

二十四才で父に死別すると、父の楽団を率いて国外まで演奏旅行に行き、たちまち有名になり、社交界の寵児となった。三十六才まで独身でいたが、ジェッティの愛称を持つ有名な歌姫ヘンリエッテ・トレフツと結婚した。彼女が彼よりも遥かに年上で、男爵トデスコ夫人だったから色々噂もあったが、若い燕の成功にはこの妻の力が少なからずあったらしい。

彼の作品には『青きドナウ』『ウィーンの森の物語』等のワルツ曲をはじめ、『ウィーンの陽気な女房達』『蝙蝠』『ジプシー男爵』等沢山のオペレッタがある。いずれも黄昏のウィーンの情趣を持った、粋で、華やかで、しかも物悲しい雰囲気をもっていて、いまでも独墺ではしばしば上演されている。　(鮭)

あすの運勢

＝十月二十五日＝　高島象山

▲一月生－虚勢を張り虚偽に流れ信を失い失敗に至る慎むべきなり
▲二月生－何事も他動的災害を蒙り或は親類身内や家庭に心配あり
▲三月生－物事順調に進展し利達栄昌あり起業開業造作移転結婚吉
▲四月生－大望を抱き空想に陥り或は我欲にして事を破る注意せよ
▲五月生－先輩上位の引立あり稼業職業共に栄達あり交渉事纒る也
▲六月生－窮地を脱し安楽栄達の道開け目的願望叶うなり旅行よし
▲七月生－物事に躊躇して機を逸し失望起る或は物に邪魔が入る也
▲八月生－心気動いて気迷い彼れよ是れよで失敗損失を招来し易い
▲九月生－万事思いつきは英断的に進出し成功あり開業移転結婚吉
▲十月生－冗費を避け社交を注意すれば無事なるも放漫に流れ易い
▲十一月生－何事も躊らず倦まず辛抱し努力すれば繁昌し幸い多し
▲十二月生－円満に発展して自由なる向上あり利達栄昌する旅行吉

風流世界譚

……（エチオピア）……

アジスアベバに住むカシム君、色こそヤカンの底のように黒いが、女房を愛するという点については白人黄色人と違いがあろうはずはありません。夜な夜な女房の胸に手をやるのが、カシム君の大好きな趣味でした。最初の間こそ女房もがまんしていうなりになっていましたが、結婚後半年、ぼつぼつカシム君の趣味がうるさくなって参ります。といって無下に断わることもできません。何分夫は眠っている間でも手を離さないというご執心ぶりです。

ある夜のこと、カシム君は久し振りにのんだ酒にすっかり酔って、前後不覚に眠ってしまいましたが、手だけは離しません。ところが女房は、そっとカシム君の手を外して、カシム君に白いゴムマリを握らせて置きました。そんなこととは知らないカシム君、夜中にふと目を覚すと、大声で叫びました。『おい女房大変だ、色が変ったぞ』ここぞと女房は真面目な顔で、『それ見なさい、あなたがあんまり玩具にするから色がはげました』

東海毒婦伝

青とかげ　(108)

野沢　純
土端一美　画

江戸の八巷（一）

『おーッとっとい！　何しやがんでい。気をつけろい！』

横合から出て来て、いきなり突き当りざま挨拶もせず、よろけるようにかけ抜けて行く、町人すがたを見送って、

『あわて者め！　まるで巾着切みてえな野郎だなァ』

呟くようにいい放ったのは、深川木場の『鳶辰』である。

所は浅草清島町、伝法院は新門辰五郎からの帰り道。

今しがた『鳶辰』に突き当ったのは、料亭『伊予松』の道楽息子、与次郎である。

あだ名を『たゝきの与次郎』ともいう。どのみち『ちょろけん』みたいな野郎だ。

『何だ、しばらくぶりだなァ』

『とは又、ご挨拶でござんすね。あっしは今日まで、旦那の行方を、さんざ探し回っていたんですぜ！』

駈けて来て、急に立ちどまったばかりだから、息がハァハァ弾んでいた。

『ふふ……そうか』

『そうかじゃァござんせんよ。片棒を担いだ、あれっきり、どろんをきめこむなんざ、ひどうござんしょう！』

のっけから、いきなり啖呵（たんか）の切り口上に、源十郎は、

『ふふふ……』

と笑った。

『まあ待てー往来で立ち話しでもあるめえ。話しがあれば、ゆっくり聞こう。身共のあとから、ついて参れ』

セリフなかばが武士言葉で、悠々と先に立って行く。

そのまま、ものの二、三丁。

同じ浅草清島町は、報恩寺横丁まで来て足がとまった。

与次郎は料理屋の倅だけに、報恩寺の新年行事『包丁始め』の儀式を一度見に来たことがあるから、この界隈は知っている。

源十郎が入って行ったのは、その付近には珍らしい、堂々たる屋敷構え。見ると乳鋲を打った門柱に、

(甲源流軍術指南)

そのかたわらに、

(坂崎刑部之亮源ノ鉄心斎)

と筆太にしるされた。檜看板がれいれいと出ている。

一ト目で山師の看板だ。どのみち、世を忍ぶ『かくれ蓑』には違いない。

坂崎も、源十郎では御家人くずれみたいだから、わざと刑部之亮源ノ鉄心斎――などともっともらしく名乗ったのであろう。

さすがに江戸は広いもの。与次郎、思わず（へえ）と呆れる。

与次郎が、それほどあわてゝ町をつッ走るにはわけがある。

今度は、追われているのではない。追っているのだ。

追っている与次郎の、目に映っているのは、りゅうとした、五ツ紋の着流し姿で、大小を腰に、ふところ手のまま悠々と、向うの町角を今し曲りかけている一人の武士である。とっさに、（坂崎源十郎！）

と見てとったのだ。

いつぞやも、浅草伝法院奥山の人ごみの中で、後ろ姿をチラと見かけて、あわてて後を追おうとしたが、あいにくあの時は、見世物小屋の雑踏で、とうとう姿を見失ってしまった。

（今度こそは逃しゃしねえ！）

武士の後から与次郎は、見る見るうちに追いついた。

『もしえ――そこへ行くお武家さん』

きびす返しに振り返って、

『身共か？』

『おっと、やっぱり坂崎さんでござんしたね！』

『そういうお前は、与次郎じゃァねえか』

言葉つきがガラリと変った。

華かに国際家族計画会議

16ヵ国代表勢揃い　未婚女性も熱心に傍聴

人口過剰問題を討議する国際家族計画会議（第五回）の開会式は二十四日午前十時十五分から東京丸の内のマンニック・ビル（日水交社）大会議室で行われた。

会場をうずめた婦人たち

産児制限運動の母といわれる国際家族計画連盟会長マーガレット・サンガー女史、[illegible]米、英、印など十[illegible]ヵ国の代表[illegible]とんどが紳士淑女で男たちは[illegible]数『将来の参考に……』と語る未婚女性もいた。いずれも参加費五百円を払って九州、北海道など全国各地から集った人たちで、四百枚の参加券は売り切れ『予想外の反響でした』と主催者側は大喜びだった。会場の一隅には各製薬会社の避妊具千点余りと、外国の〝避妊の手引き〟など多数の参考文献が並べられ、内外人の見学者で賑っていた。外人もほとんどが女性で、サリーをまとったE・パグラー夫人（印）など賑やかな色をそえた。

式は日本家族計画会長下条康麿氏の開会の辞ではじまり『人口過剰に悩む日本国民はこの会議の成果に大きな期待を寄せる』などの加藤シズエ女史のあいさつがあって外人代表の祝辞に移った。まずサンガー女史が『街を見ただけで日本が人口過剰に悩んでいるのが判りますが、夫婦間の理解と自制だけでなく、広く社会国家全般の協力によって人口問題の計画的解決に努力しましょう』とあいさつ、正午すぎに式を終った。午後は二時から本会議に移り『家族計画』『人口問題と平和』などについて報告第一日の日程を終る。

ジャンパーに血痕

矢口の女給殺し　馴染の元運転手取調べ

大田区矢口町の女給、湧永登美子さん(三二)殺し事件を捜査中の池上警察捜査本部では、同区田園調布一丁目元自動車運転手朝鮮人某(三七)を重要参考人として調べていたが、二十三日夕刻自宅から胸、腕など数ヵ所に血痕のついた同人の茶色ジャンパーを発見、押収した。某は今年春ごろから飲食店『千春』に出入し、登美子さんと結婚の約束までしたが、男出入りのはげしい登美子さんが最近ほかの男とできたところから冷たくなったので、恨んでいたといわれる。事件当夜は家にいたといっているが、『千春』の隣家の主人が事件直後『千春』の付近をうろついているのを目撃しているなどアリバイにも不審の点がある上、ジャンパーの血痕はごく最近のものであるところから同本部では重視、ジャンパーの血痕を被害者の血液型と照合するとともに同人への容疑をますます深め厳重追及している。

アパートで老人変死　品川

二十四日午前七時ごろ品川区西戸越二の八七〇倉持アパート＝責任者倉持源次郎さん(四七)＝内無職松中竹次郎さん(六〇)の部屋で竹次郎さんが死んでいるのを倉持さんが発見、荏原署に届出た。調べによると死んだ竹次郎さんは昨夜十二時ごろ倉持さんと口論、二人は近くの同署西戸越交番に訴えたが解決できないままに竹次郎さんが死んだもの、話によると口論の際倉持さんに殴られたと交番でいっており死因に不審があるので司法解剖する。

薪割りで撲り殺す　川崎の飯場で

【川崎発】二十三日午後十一時ごろ川崎市大島町四の九日東建設飯場（責任者鈴木主計さん）で土工服部徳次郎(六四)は、同僚の岩崎金蔵さん(五八)と飲酒中、ささいなことから喧嘩となり服部はマキ割りで岩崎さんの頭に切りつけひん死の重傷を負わせたが、岩崎さんは二十四日朝六時四十分ごろ死亡。

ミナト・ヨコハマ　Yライン　●山下公園

文　北林透馬　画　森比呂志

皇居前以前のメッカ

日曜にはアベックの波

ヨコハマの山下公園といえば、[illegible]いわゆるシーサイド・パーク[illegible]名である。まだ皇居前ひろ場なんてものが、人民共に開放されない以前は、アベック諸君にとっては山下公園は、まるでメッカみたいなもんだった。何しろヨコハマは、東京と違って人口が稠密でない。いや、なにも人口問題なんぞをかつぎ出すまでもない。大体ヨコハマの人間は東京人みたいに他人のことなどはあまり気にしない。いろんな国の人間のよりあつまりの開港場気質とでもいうんだろうか、他人のセンキを気に病むようなオセッカイはあまりいないところだから、アベックの若いおふたりが何をしようと[illegible]の取締りがきびしくなったわけではない。ヨコハマのおまわりさんは、昔どおりに粋で親切だが、かんじんの公園が四分の一にへってしまって、芝生のひろ場がほとんどなくなってしまったのである。

公園が地震で水中にカン没したわけではない。アメリカさんの将校たちが、住宅をつくっておさまり、まわりに厳重なカナアミを張りめぐらして、『日本人立入禁止』のタテ札をおっ立ててしまったからである。いや、情ないもんですな。この処に棲んでる将校氏は、将校のなかでもよほどのおえらいっこう方らしく、噂さによれば、毎日サラリーマンが聞いたら気絶しちまいそうな話ではないか。たった数家族のアメリカ将校のために、ヨコハマ市一〇〇万人の楽しみを奪われるのはカナわんというんでPTAのおカミさんたちが、これらの家族にお立退きのほどを度々陳情申上げているんだが、『ほかに住宅がない』という理由で、ガンとしてお立退きにならない。これも噂さによると、『こんな景色の好いステキな場所に、一生に一度是非棲んでみたいと思っていた』とお洩らしになった将校夫人もあるということだから、とてもここしばらくは、ニッポン人には開放して貰えそうもありません。

それでも日曜ともなれば、若いアベックがわんさとおしかけて、四分の一ほどの中央ひろ場で、池をはさんだバラのパゴラの下で、チョウチョウ、ナンナン。兵隊さんとオンリー嬢。マドロス氏とパンパン嬢。まっぴるまからの猛烈な接吻風景も見られるが、そのなかの付近の下士官住宅のサージャント氏が、イージーなジャケツ姿で子供をウバグルマにのせて悠々と散歩したり、南京街の若いチャイナ夫人が、これも子供と犬をつれて散歩していたりして、まことにのどかな風景も見られる。やっぱり好いですよ。

エムさん　石川進介　324

豆スターってごうせいなもんじゃ

うちの豆どもも一人ぐらいスターにならんかな

パパも左うちわだ！

おまえも王女さまと恋愛ぐらいどうだ！

船長らの過失を追及

紫雲丸事件初公判開く

【高松発】紫雲丸事件第一回公判は二十四日午前十一時三十五分から高松地裁二号法廷で横江裁判長係、本井高松地検次席検事、堀ら六弁護人立合いで開廷、さる八月二十九日業務上過失、艦船覆没傷害致死の疑いで起訴された第三宇高丸一等運転士兼船長三宅実(三八)＝岡山県児島郡灘崎町＝同二等運転士杉崎敏(二九)＝坂出市鴨町＝同三等運転士穴吹政数(三二)＝香川県香川郡檀紙村＝紫雲丸二等運転士立岩正義(三七)＝香川県香川郡弦打村＝の四被告について海難審判とは別に刑事責任を追及する審理を開始、同二十五分から起訴状の朗読に入った。なお第一回は弁護団の要請で人定質問、起訴状朗読に止まり、事件の本格的審理は第二回以後に持ちこまれる。

起訴状要旨　一、被告人三宅実は昭和三十年五月十一日午前六時十分宇野港を出港した第三宇高丸船長として運行全般を指揮していた。船長としては紫雲丸を自船のほぼ正船首方向約二浬付近にありと認めたところから投錨仮泊して霧の晴れるのを待つか危険が切迫しても直ちに衝突を避けるため適当の速力で進行、機関の運転を停止し、レーダーの使用に合わせて無線電話を利用するなど衝突の危険がなくなるなど万全の処置を講ずべき業務上の注意義務があった。三宅は万全の処置をとらず紫雲丸が自船の進路方向に接近しつつあったことを気づかず百四十度の進路で全速進行したため六時五十六分ごろ自船船首を紫雲丸の右舷上部に衝突するに至らしめた。

一、被告者杉崎敏は第三宇高丸の航海副直として船長の補佐をしていた。紫雲丸が右に避けようとする様子のないことに気づきその動きに疑いをもちながらその旨を船長に報告しなかった。

一、被告人穴吹政数は第三宇高丸の航海副直として無線電話係りの任務にあったが、当然なすべき電話連絡を怠った。

私も一言

みなさんからの喜び、苦情、なんでも扱いたいと思います。投稿の際は『私も一言』係へ

車掌の暴言

『守られぬ車内道徳』なる一文を読んで腹が立った。これがいわゆる国鉄一家的な精神なのかとあきれたり感心したりした。車掌の町田氏にいわせれば車内道徳の低下とは乗客の三分の一が二等乗車券を持たずに二等にのり車掌氏の手をわずらわせることにあるという。そのため『国鉄では人件費もかかる』から『不道徳』だというのだろう。まことに手前勝手ないい分である。車掌ともあろう者がまるで客の立場を考えていない。客をすべて乗せてやる者、そして目を放せばインチキやる者と考えている。私も中央線の二等をしばしば三等切符で乗って精算する一人である。

それは、二等の電車がいつ来るか判らないからなのである。一時間に数本、少いときは二、三本あての二等を待つほど閑人ではない。来れば三等でも乗ってしまう。各駅には時間表があるというかも知れぬがそれを一一写してはおられますか。かつて山手、京浜の二等に乗ったとき二等の時刻表をくれたが、中央線でも少しはこうしたサービスをしたらどうか。それに戦前の二等車は全部座れたのに今日ではそうとは限らない。各列車に全部二等がついていれば初めから二等を買って乗るだろう。もし町田氏的な道徳心が欲しかったら各列車全部に二等をつけるか、それとも二等を全廃するか、あるいは二等の時刻表を根気よく配るかすることだ。それに『二等車で小間物店を開いたり、他の客へ迷惑をかけないように』とのことだが三等車な[illegible]らいいというのか。こうした感覚の持主が車掌なんだから国鉄のサービス精神がよくならぬのももっともだ。

こうした車掌に限って三等の客にいばるものだ。発車真際に二等とは知らず慌ててかけよってくる老人や子供連れなどを冷然と時には嘲笑を含んで『二等です』と叱咤するのもこうだ。ひろく客の立場に立って考えるほどの良識と謙虚さを車掌氏も少しは身につけたらどうか。裁判官や修身の先生のように思い上る前に。（都下北多摩郡国立町国立中区五一・杉英之）

雨にもめげず　読書の秋

読書の秋——雨にもまけず風にもめげず文化の森の上野図書館に通う学生たち。きょう二十四日は朝から冷い雨が舗道をぬらしているが、図書館の前は開館を持つ傘、傘、傘の波……学生の勤勉なのを喜んでいいのか、図書館も碌に建てられない貧乏国を嘆いていいのか知らないが、行列の寸暇も惜んで本に目をさらす人が多かった読書の秋のひととき。

写真は上野図書館の開館を待つ傘の波

マナスル登山また断念？

部落民の反対強く

【カトマンズ二十四日発AP＝共同】二十三日夜カトマンズに達した報告によると、日本のマナスル（八・一二三メートル）登山隊＝小原（立大）村山（東大）橋本（北大）の三名からなる先遣隊＝はベース・キャンプのサマの部落民のため昨年と同様再び行く手をはばまれたという。その理由は一行のマナスル攻撃が山上の神を怒らせるからと信じ込んでいるため、昨年の日本登山隊もこのためマナスル攻撃を断念し、その東方のガネシュ・ヒマールに転進したいきさつがある。

覇権を賭けて力闘　きょう大阪で　日本シリーズ決勝戦

地力を発揮した巨人の反撃で三勝三敗とタイにもつれ込んだ日本シリーズ第七戦は秋晴れの大阪球場で行われた。当日売りだけということを気遣って開門を十時に繰り下げたがファンの出足は相変らずにぶい。午後二時やっと二万二千の観衆が見守るうち今シリーズともに二勝を挙げた別所、戸川両投手の対戦で決勝の火蓋を切った。

若いツバメと心中未遂　邪恋清算の人妻

【大町発】二十三日午後十時四十分ごろ長野県大町市木崎湖旅館滄浪閣（経営者＝幡野茂路さん）方に挙動不審の男女が泊っていたので大町署で保護しようとしたところ、女は睡眠薬を飲み苦悶しだしたので大町病院に収容手当の結果一命はとりとめた。調べによると女は杉並区荻窪一の三九斎藤虎男さんの妻重子さん(四三)男は世田谷区上馬一の五〇九会社員斎藤嘉さん(二三)といっており、邪恋の清算するためらしい。大町署では身許を照会している。

独眼灯

○…新宿周辺の旅館や連れ込み宿を専門に約六十万円をかせいだ枕探しのアベックが二十三日夜淀橋署に御用となった。

○…住所不定無職三ツ木博(三〇)と小島百合子(三三)で二人はこの春旭町のドヤで知り合ったいい仲。

○…『アベックがアベックを狙うの新手口よ…』と去月十四日夜新宿区角筈二の八二松本旅館で杉並区三谷町の会社員(三〇)と事務員(三三)が仲良くお風呂に入っている隙に現金七百円と貴重品五千円を盗んだほか百件約六十万円を自供している。

○…まず狙った客が風呂に入ると三ツ木が女中に話しかけて足を止めさせ、その間百合子が手早く盗むといったやり口で主犯役は百合子、その彼女曰く『私、この人に首ったけなの』と三ツ木に夢中になり取調中にもお茶など入れて彼氏のサービスにつとめていた。

花月園競輪最終日成績　◇第一女（千二百）❶青木二1分50秒4❷野口ト❸小池チ（単）無投票（複）特70円（連）❺—❶960円　◇第三A（千六百）❶早川五2分21秒4❷柴田富❸発生川（単）無投票（複）100円150円120円（連）❸—❹780円

あすのスポーツ　△庭球　関東学生選手権（十時、早大）△競馬　浦和

続 情炎の千代田城 (278)

岩崎栄 作　寺本忠雄 画

火煙血煙（十七）

『中之島に渡れッ』

と、わめいた声に、五、六人が築山から駈け下りて、一間の水を小いさな島に飛び渡った。と、この島がまた轟音とともに爆発した。

『こっちだ。続けえッ』

と叫びながら、土塀へ飛び上るものがいた。塀の上を走って、これが難なく書斎の庭に飛び降りると、十人ばかりがそれに続いた。

深い樹木の下を、これが書斎の方に這い出した。

『わッ』

一人が、頭をかかえるように引っくり返った。

『うッ』

また一人、

『ギャッ』

夜空を覆いかぶせている庭木の梢に、黒い怪鳥のような、怪しい影が、バサリ、バサリと飛びちがっている。

サッと降りて、一突きするや、パッと梢に、あるいは枝に飛び上がる。これは山窩の一味が得意の戦法である。なかなかどうして、白石のいる書斎へは、一歩たりとも近寄れるものではなかった。そして、書斎の内はシーンとし、鳴りをひそめている。

木人と八角はやはりぎょう結した氷柱のように立ち向ったままでいる。

火焔を映して、鮮血を塗ったように見える二口の剣尖が微動だにしない。偉大な両剣士の抜群な剣技が相伯仲しているものと見える。

江戸城の乾御門から、東金の陣笠、狸々緋の陣羽織、絵にあるよ……

『へヘッ』

うやうやしく門を開いた。

中門の扉は固く閉じられて、人がいない。押しても叩いても、なんの反響もない。

一人が松の幹から飛び越えて引き開けた。

『こらッ、なにものだッ』

大喝するものと、黙って駈けて来て、いきなり大刀を振りかぶるものと――。

松竹・東宝 歌舞伎合戦 第二期へ

鴈治郎の"復帰"失敗

松竹側工作の舞台裏

中村鴈治郎　松本幸四郎　大谷友右衛門

……た。結局、会社への居直りのゼスチュアが行過ぎたものだ』としてやがては松竹の舞台に復帰するという見方があったが、これが半年足らずで立証されようとしたわけだ。

ところが関西俳優協会としては『関西歌舞伎への復帰なら結構だが、縁もゆかりもない菊五郎劇団への参加は筋が違う』と強硬態度をとった。会社側では十五、六、七の三日間にわたって種々提案したがますますコジれて、協会では十八日緊急会議を開き、場合によっては十二月、一月、休演して会社と雁治郎の身勝手に対抗するという態度を示した。これを高橋常務から聞いた西下の大谷会長が『十一月の話は取やめる。十二月以後の鴈治郎の身柄は自分が預かって協会と相談する』と折れて幕が降りたが、これで鴈治郎復帰の見通しはまた五里霧中になったわけだ。

幸四郎も参加

来年五月 吉劇団全員、東宝劇場に出演

大阪のこの騒ぎに対して、東京では来年五月の『東宝歌舞伎』に早くも、勘三郎、歌右衛門と共に、前回不参加の幸四郎の参加が決定をみた模様で、これによって内容の充実を図ると同時に、七月の大当りを更に上回る収入を当てこんでいる。吉右衛門劇団は分裂の危機を一応突破して、法人化による劇団の団結強化を目指しており、幸四郎の東宝参加もこれを一応裏付けるものだが、内部的にはまだ問題が多く注目されている。また分裂の場合、加入を予想されていた大谷友右衛門は、今年いっぱい関西での出演が決定しており、劇団関係者の間には『友右衛門は映画から舞台に復帰したものの、東京の雰囲気に厭気がさして関西歌舞伎入りの意思を固めているようだ』といっている。一方、さきに十一月東宝出演を断わった菊五郎劇団は当時のモツレと、更に劇団幹部と東宝の某有力者との個人的なイザコザもあってここ一、二年は東宝に出演しないものとみられているが、関係者の一部には『吉右衛門劇団に先を越されたのがたたって損をした』という見方が有力である。いずれにしても、東宝が現在歌舞伎攻勢に一段と拍車をかけていることは事実で、こんご更に面白い動きがあることは確かである。

おしゃべり横丁

アメリカチーム外野にネットをはろう。

――見物

背景に人種的偏見

助演のユルゲンスが光る

映画やぶにらみ

『悪の決算』 …仏シラ・フィルム…

▽…赤道直下、アフリカ大西洋岸にある世界で唯一の黒人共和国リベリアが背景で、ここへ流れて来た落ちぶれ白人たちを描いている。戦前のフランス映画にも『地の果てを行く』『外人部隊』『望郷』などとアフリカものが多かったが、この作品がそれらと根本的に違う点は、白人と黒人、ドイツ人とフランス人という人種、民族的な対立と偏見、さらにまた戦争や軍人の問題について、若い演出者イヴ・シァンピのインテリらしい批判的良心の糸が、一本貫かれているということだろう。

▽…この国の首府には、黒人から支配されつつすねて生きている白人たちが何人かいる。彼らは、元対独協力者で昔は一流弁護士として鳴らしたセブラン（ジャン・セルヴェ）が、黒人を情夫にしている美しい妻マヌエラ（マリア・フェリックス）と共同で経営する安ホテルを根城として、自嘲と追憶と無為の毎日を過している。そこへある日、二億フランもする密輸ダイヤの原石を輸送中に撃っぱらった操縦士のミシェル（イヴ・モンタン）が現われ、マリアは彼にひきつけられる。ミシェルを追って密輸団ボスの手下ドイツ人のヴォルフ（クルト・ユルゲンス）が同じホテルへ投宿するに及んで悲劇の幕が開くわけだ。

▽…最後には物欲の対象となったダイヤは海底に呑まれマヌエラとセブランは死に、かつては敵同士だったが、互いの過去を知るに及んで友情を感じるようになったミシェルとヴォルフは、手をとり合って新しい人生へ再出発しようと誓うところで終る。このあたりベートーヴェンの運命交響曲が背後を流れ、なかなか、ダイナミックな力作で後味がいい。しかし、シャンピ演出は欲ばった素材を説明不足に終らせるかと思うと冗長な部分もあるという風で、劇的統一は十分でない。モンタン、セルヴェ、フェリックスも悪くないが助演のユルゲンスがドイツ人らしい重厚さを持った的確な演技で印象に残る。（透）

【写真右からモンタン、フェリックス、ユルゲンス】

剣劇テレビに映画女優出演

▽…剣劇ドラマの好評に気をよくしてか、KRはテレビでも『猿飛佐助旅日記』『江戸の影法師』という時代ものを登場させた。『佐助』はテレビでみせる忍術のトリックがミソだが『江戸の影法師』では南風洋子、浜田百合子らもチャンバラに一役買うという話。さてこの女優さんたち、どんな女剣劇を演ずるやら……。【写真は南風洋子㊨と浜田百合子】

ラジオ、テレビのアナ二役

▽…今のところラジオのアナウンサーはそのままテレビ放送の花形でもあるが、スポーツ、殊に野球の同時放送の場合の一人二役には無理があるようだ。例えばアナウンスが打者の飛球を追っているのにカメラは塁上の走者を映していることが多く、これではテレビをみている人にはチグハグな感じを与え、じれったいものである。やはり同時放送の中継は別々のアナが担当した方がよいのではないか。

マイクのカゲ

ぶちこわしの商品宣伝

▽…ゴールデン・アワー以外の番組は、まさかどうでもいいというわけではないだろうが、余りいいものは聞かれない。ひどかったのはLF十六日の『お笑いバスケット』で松浦善三郎の台本もお粗末だが、放送の終りにスポンサーの社員が出て商品宣伝をやるに至っては滅茶苦茶である。（堀）

私のコレクション ⑳

印材

尾上多賀之丞（歌舞伎俳優）

（混）ざらっけのない江戸っ子で、根っからの役者気質が染みこんでいる。役者気質とは大ざっぱにいって、自分のやることはどんなことでもいい加減にはしょるのがいやだという精神である。六代目菊五郎の女房役として名演技をみせてきた多賀之丞は、舞台の合間の趣味人としての生きかたにも一本"筋"を通さないではいられぬ性分だ。

子供のころから絵を描くのが大好きだった。そのせいかコレクションも郵便切手とマッチのレッテルをやっていた。だがそれだけではもの足りなくなった。鏑木清方の絵にいい知れぬ感動を受け、十八才のとき、自分も画家になるつもりで清方を訪ねて弟子入りした。三、四年ばかり通って本格的な絵描き修業をやったが、やっぱりカエルの子はカエル。美を追及する道は一つと悟って画家になることをやめ、絵は手すさびと考えるようになった。だからその絵は結構玄人はだしのもので人はヒイキ筋や知人から再三所望された。そうするとおなじ図柄の絵は何度も描きたくないし、これに押す落款（ラッカン）も一々作品にマッチするものでなければ気がすまなくなった。そこで最初はビールびんのコロップを彫ったりして間に合わせていたが、物足りなくなってついに印材あさりをするようになった。

渋味のあるツヤに愛着

これも徹底した凝り性のお蔭

（宝）石類とは違った趣味で、印材の石が持つ渋味のあるツヤは捨てがたい。この石は中国の寿山で産する。青田（セイデン）田黄（デンオウ）鶏血（ケイケツ）など、その名が示すような色彩の深さ、手ざわりのよさ、いい石ほどなんど眺めても見飽きることがなく、思うがままの印を彫ることができる。当時、田黄が一つ七十円くらいした。『名題さんでも給料が七十円程度でした。それをポカッポカッと買ってくるものだから、おかみさんが怒ってね』それでも、気がねしいしいセッセと買いこんだ。篆刻（テンコク）も正式に習わねばいやなので松丸東魚氏（日展審査員）の門をたたき現在まで約二十年間師事している。戦後、日展に書道部ができてから篆刻の部で二度も入選したのだから、手すさびといってはもったいない。この道でも堂々と門戸を張れる腕前だ。

（戦）炎で焼けるまでいた蒲田の家いっぱいに、これらの印材や印譜、参考書など貴重な中国古書がぎっしりと置かれてあった。そのほとんどを焼失してしまったが、十数個の印材だけは肌身につけて逃がれた。もはや、この人の生活に舞台と印材の二つは宿命的なつながりを持っている。『近ごろは印材も何万円だなんていうんですから、ちょっと手がでませんやね』とコボした口のあとで『でも、いい石を見るとどうも……』つい買いたくなっちゃうらしい。『さいきん漢詩の写字をやりだしましてね。とんだ七十の手習いですが』といいながら若々しく微笑するこの人は、鵜の毛ほどのスキもない典型的な歌舞伎役者の一人なのである。

宝井馬琴独演会　二十五日六時本牧亭。馬琴の『寛永三馬術』『原主水』ほか琴州、琴松、山亭金太郎、松鶴家千代若、千代[illegible]が出演。

コロムビア・ミヤタ音楽教室第二回発表会　二十六日六時、虎ノ門共済会館ホール。

里神楽を観る会　二十七日五時水道橋能楽堂。里神楽を観る会同人および葛西囃子睦会と、女流江戸ばやし品川連中ほかによる『[illegible]舞』『祭り囃子』『大蛇退治』『秋の舞』などを上演。

『糸つむぎ』三部作

青年舞踊研究所で上演

細井和喜蔵の名作『女工哀史』が出版されてことしで三十年になるが、これを記念する意味も含めて青年舞踊研究所（代表邦千谷）では十一月十一日六時半から青山の日本青年館で第一回発表会を開き『女工哀史』より邦千谷の構成した『糸つむぎ』三部作を上演する。これは紡績女子労働者の労働と生活をモティーフにして舞踊化したもので、姉妹の歴史、機械の……

都々逸名選　小沢扇太郎選

これまでの縁とあきらめ別れてやろう　あいつをあいつにくれてやろ　前橋・川……

今のあたしに未練も感謝もなくて静かな秋の雨　長岡・鈴……

近頃すっかり音無川の秋の夜長の逢い不足　千住・志……

泣くのはおよしと貴方の膝に抱かれて嬉しく泣く……　船橋・斎……

目と鼻の先にいるのに千里離れているよな淋し……　向島・君……

◇

逢えぬつらさに起きたり寝たり起きて手酌で又ごろり　選者

はと笛

ラジオ・プログラム　25日（火）

★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニツポン★ 1310KC
7・45 朝の訪問 慶応大教授 加納保之	7・30 ロシア文学入門❹ ソヴイエト時代 米川正夫	8・35 劇 花ふたたび	7・30 三枝登とその楽団	7・00 ピアノ独奏 和田肇
8・05 アルトール・ローター指揮 組曲 道化師ほか	8・30 大作曲家の時間 プロコフイエフ❷	9・05 チヤツカリ夫人 ウツカリ夫人 市川三郎	8・10 おしやべり 椿トシエ	8・00 サザエさん 市川すみれ
8・30 面の話❷ 野村万蔵	10・45 名曲めぐりロシア	10・10 名作アルバム 夜行巡査(1)泉鏡花作	9・30 青春のあるところ	10・00 花は燃えている
			10・40 劇君ひとすじに	11・00 おばあさん 長岡輝子
			11・15 録音 鮎のウルカ	
0・30 小ばなし横町 黒沢良	0・30 ボンゴのひびき 歌 真田千鶴子 ラツキーパピーオーケストラ	0・15 リズムのつどい 柳沢真一ほか	0・15 活動から映画へ 山野一郎	1・00 ささやかな幸福
1・15 婦人の時間	1・15 第十四回音楽コンクール本選会実況	0・30 キング・アワー ❶『木枯しの吹く町』	1・15 はなしの塚 金馬	1・35 やりくりチヨ子さん 左幸子
2・05 ❶人形浄談 忠太郎日記 花島三郎 ❷落語 歌風	2・30 仙台 日米親善野球試合第四回実況	1・20 母の自画像『細川ちか子』	2・00 劇 きのうの女 楠田薫 岸旗江ほか	2・00 君を愛す 中村有里
2・30 独唱 川内澄江		2・05 ユーモア・コンテスト	2・35 サムライの末裔	2・30 N・B・Cポツプス
3・15 雨跡 浜野康			4・00 青空会議 納税者の声	4・00 君美しく 水城蘭子
				5・00 流れるリズム
6・25 オテナの塔 須永宏	6・40 科学家庭座談会 灯台の役目	6・25 トニー谷シヨウ	6・00 少年宮本武蔵	6・00 ポツポちゃん物語
7・30 話の泉 ゲスト 田付たつ子ほか	7・00 名曲観賞	7・30 三味線栗毛 円歌	7・30 漫才クイズ 弥次喜多道中記 いとし こいし	7・30 ミラクル・メロデイ
8・00 青空の仲間 エノケン	7・30 明日の農民生活の向上をめざす長男グループ	8・00 剣に生きる人々 東野英次郎 羽左衛門	8・30 徳川家康 宝井馬琴	8・00 今週の花嫁花婿 ゲスト フランキー堺
8・30 民謡をたづねて 黒田幸子 太田はま子	8・05 ラジオ家族会議 座談会 [illegible]	8・30 歌の風車 近江俊郎 神楽坂浮子	9・00 歌うバースデイプレゼント	8・30 演芸 水戸黄門記 突破
[illegible]	[illegible]	[illegible]	9・30 ❶お芝居ごっこ [illegible]	9・30 劇 吉野仏 市川すみれ